

第 1780 圖



なでしこ科

つめくさ (瓜槌草)

一名 たかのつめ

Sagina japonica Ohwi. (= Spergella japonica Sw.; Sagina maxima A. Gray; Sagina Linnaei Presl var. maxima Maxim.)

庭園・路傍其他ニ最モ普通ナル一年生或ハ越年生ノ小草本ニシテ緑色ナリ。莖ハ概ネ株本ヨリ分岐シテ叢生シ、數條或ハ多條撒開シテ分枝シ、高サ2-15cm許、上部ニハ短腺毛ヲ布ク。葉ハ對生シ、線形ニシテ鋭頭、底部膜質ニシテ聯合シ短鞘ヲ成ス。春夏ノ候、莖上葉腋ヨリ長梗ヲ抽キ白色ノ小花ヲ開ク。花梗・萼片ニハ短腺毛ヲ有ス。萼ハ五片、長橢圓形ニシテ鈍頭、長サ2mm許。花瓣モ亦五片、卵形ヲ呈シ萼片ヨリ僅ニ短ク、分裂セズ。五雄蕊。卵圓形子房ノ頂ニ短キ五花柱アリ。蒴果ハ廣卵形、萼片ヨリ長ク、先端ニ五裂片ニ開裂ス。種子ハ極メテ微小ナル突起ヲ密布ス。一種海邊ニ多ク、脚葉大ニシテ厚ク光滑アリ、種子ハ微小ナル凹凸ヲ有スル者ヲはまたかのつめト呼ブ。和名瓜草ハ其葉形瓜ニ似タレバ云フ、鷹ノ爪モ亦其葉形たかの爪ニ類スレバ斯ク呼ブ。漢名 漆姑草(誤用)

第 1781 圖



なでしこ科

みみなぐさ

Cerastium caespitosum Gilib. var. glandulosum Wirtgen.

(= C. vulgatum L. var. glandulosum Regel; C. triviale Link. var. glandulosum Koch.) 路傍・圃地邊等ニ普通ナル越年生草本ナリ。莖ハ概ネ株本ヨリ分岐シテ叢生シテ傾上シ、高サ15-25cm許アリテ通常暗紫色ヲ呈シ、通シテモテ有シ上部ニ在テハ腺毛ヲ混ズ。葉ハ對生シテ稍無柄、卵形乃至卵狀披針形ヲ呈シ全邊ニシテ有毛ナリ。春夏ノ間莖頂ニ枝ヲ分チ岐織花序ヲ成シ白色ノ小花ヲ開ク。花梗ハ短ク、果時先端下向ス。萼ハ五片、長橢圓形ニシテ長サ4-5mm許、背ニ毛ヲ有シ、邊緣膜質ナリ。花瓣モ亦五片、萼片ト略同長ニシテ先端深く二裂ス。十雄蕊。卵圓形子房ノ頂ニ五花柱アリ。蒴果ハ圓筒狀ヲ成シテ横向シ遙ニ宿存萼片ヨリ長ク、淡黃褐色ヲ呈シ、先端ニ十齒アリ。種子ハ褐色ニシテ微小ナル疣狀突起ヲ有ス。和名耳菜草ハ其葉鼠ノ耳ニ似且ツ嫩苗ヲ菜トシテ食ヒ得ベト謂ヒ以テ名トス。漢名 卷耳・婆婆指甲菜(共ニ誤用)

第 1782 圖



なでしこ科

たがそでさう

Cerastium oxalidiflorum Makino.

我邦中部ノ山地ニ生ズル多年生草本。根莖ハ細長ニシテ地中ニ横走シ疎ニ分枝ス。莖ハ叢生シ瘦長ニシテ直立或ハ傾上シ高サ30-50cm許ニシテ細毛ヲ有シ上部ニハ腺毛ヲ帶ブ。葉ハ無柄ニシテ對生シ、披針形ニシテ兩端尖リ、下部ノ者ハ略ボ筒狀ヲ呈ス、全邊ニシテ縁毛ヲ有シ長サ3-8cm、兩面有毛ナリ。七月頃、莖頂ニ岐織花序ヲ成シテ白花ヲ開ク。花ハ徑15-19mm許、花梗ニハ腺毛ヲ布ク。萼ハ五片、卵狀披針形ニシテ長サ6mm許、背ニ腺毛ヲ有ス。花瓣モ五片、筒狀長橢圓形ヲ成シテ分裂セズ下部ハ狹楔形ヲ呈シ、萼片ノ二三倍長アリ。十雄蕊。卵狀長橢圓形子房ノ頂ニ五花柱アリ。蒴果ハ圓柱形ヲ呈シ、宿存セル萼片ヨリ遙ニ長ク長サ凡15mm内外、先端ニ十齒ヲ有ス。本種ハ分裂セザル花瓣ヲ有スルヲ以テ同屬中ノ他種ニ比シテ異采アリ。和名誰か袖草ハ多分『古今集』ノ歌ノ「色よりも香こそあはれとおもほゆれ誰袖ふれし宿の梅ども」ニ據テ名ケシナラン、即チ本種ノ花ハ白色ニシテ香氣アルヲ以テナリ。

みやまみみなぐさ

Cerastium schizopetalum Maxim.

中部ノ高山ニ生ズル多年生草本ニシテ高サ10-20cm、莖ハ纖細ニシテ叢生シ下部ハ伏臥シ、上部ハ相倚リテ立チ腺毛列ニ條ヲ有シ上部ノ節間ハ長クシテ各節相疎隔ス。葉ハ對生シ無柄、線狀披針形ニシテ平開シ先端鈍形、中脈ノミ陷入シ毛茸アリテ糙澁ス。花ハ七八月頃莖頂ニ疎ナル聚繖花序ヲ成シテ殆ド直立シ、花梗ハ腺毛列顯著ナリ。白色花ニシテ徑2cmニ近ク、萼五片ハ披針形ニシテ綠色、草質、外面ニ腺毛アリ。花瓣ハ五片ヨリ成リ漏斗狀鐘形ヲ呈シテ倒卵形、邊緣ニ缺刻様ノ四齒ヲ有ス。雄蕊ハ十箇。橢圓形子房頂ニ線形ノ五花柱アリ。和名ハ深山耳菜草ノ意ナリ。

第 1783 圖



なでしこ科

おほばなみみなぐさ

Cerastium Schmidtianum Takeda.

我邦ノ北地ニ見ル多年生草本ニシテ莖ハ細長ナル圓柱形ヲ呈シ綠色ニシテ高サ50cmニ達シ、斜上シテ毛茸ヲ有シ腺毛ヲ混ズ。葉ハ無柄ニシテ對生シ長卵形乃至廣披針形ニシテ尖リ、長サ2-5cm許アリテ兩面有毛ナリ。夏日莖頂ニ上向セル岐織花序ヲ成シ稍大ナル白花ヲ開ク。花梗及ビ萼片ニハ腺毛ヲ密生ス。萼ハ五片、長橢圓狀披針形ニシテ長サ6-7mm、邊緣膜質ナリ。花瓣亦五片ニシテ平開シ、各片倒卵狀楔形ヲ呈シテ先端二岐シ、萼片ニ比スレバ略ボ其倍長アリ。蒴果ハ圓柱形ニシテ下ニ宿存萼ヲ伴ヒ、長サ萼片ノ二倍ニ達シ先端ニ十齒アリ。種子ハ略ボ圓形ニシテ長サ1mm餘アリ、表面ニ疣狀突起ヲ有ス。和名ハ大花耳菜草ノ意ナリ。

第 1784 圖



なでしこ科

こばのつめくさ

Minuartia verna Hiern.

(= Alsina verna Bartl.)

高山地帯ノ砂礫地ニ生ズル多年生小草本ナリ。莖ハ纖長ニシテ密ニ叢生シ高サ3-10cm許、綠色ニシテ微毛ヲ有シ上部ニ在テハ腺毛ヲ混ズ。葉ハ多クシテ對生シ、瘦線形或ハ針形ヲ呈シテ毛ナク、長サ3-10mm許アリ。夏日莖頂ニ岐織花序ヲ成シテ少數ノ小形白花ヲ開ク。花梗ハ纖細ニシテ腺毛ヲ布ク。萼ハ五片、披針形鋭尖頭ニシテ三脈ヲ有シ、稍無毛、長サ3mm内外アリ。花瓣ハ五片ニシテ平開シ卵狀長橢圓形ニシテ底部短花爪ヲ有シ、萼片ト略ボ同長或ハ少シク長シ。概ネ十雄蕊。卵形子房頂ニ三花柱アリ。蒴果ハ長橢圓狀卵形ニシテ宿存萼ヨリ稍長ク熱形スレバ三裂ス。種子ハ細微ニシテ腎臟形ヲ呈ス。和名ハ小葉の瓜草ノ意ナリ。

第 1785 圖



なでしこ科